

県有施設利活用・保守管理プログラム (第3次分)

平成26年3月
愛知県

1 プログラム策定の背景・課題と目的

背景・課題

- 老朽化しつつある県有施設の整備・更新等の需要の増大が見込まれる。
- 知事部局等の職員数は、累次の行革大綱のもとで、大幅にスリム化を図っており、庁舎等の施設では、低利用、未利用スペースが生じるなど、整備当初とは利用状況が変化している。



既存県有施設の総量を縮小し、施設の効果的・効率的な利活用・保守管理を推進することが必要

目的

- 県有施設の総量縮小による将来的な維持管理・保守経費の縮減
(耐震性等に優れた施設に機能を集約して適切に保守する一方、小規模で老朽化した施設を廃止)
- 廃止した施設の跡地について、地域のニーズに配慮しながら、適切な処分や有効活用を推進

2 プログラムの内容

- 個別の県有施設^(注)について、全庁的な視点から次の事項を取りまとめるもの
 - 中長期的な施設の利活用の方向性(維持する施設、利用調整の上売却する施設など)
 - 利活用・管理の最適化に向けた対応策(施設の集約など)

(注)知事部局(教育委員会事務部門を含む)所管施設のうち、指定管理者制度を導入している公の施設を除いた庁舎等

今回取りまとめ(第3次)分

2施設についてプログラムを策定、うち1施設を引き続き活用(1施設を廃止)

15年度間の効果額※ 概ね2.2億円と試算

※ 現在の施設を現状のまま15年度間維持する場合とプログラムを実行した場合の経費の差額に
財産収入を加算

現状を維持する
場合の保守経費等

－

プログラムを実行した
場合の保守経費等

－

プログラムの実行に
要する初期投資
(移転改修経費等)


+

財産収入(跡地)

【参考】プログラムの策定状況(進捗状況は5~6ページ参照)

	第1次分 (平成24年2月公表)	第2次分 (平成25年2月公表)	第3次分 (平成26年3月公表)	計
対象施設数	16	16	2	34
(うち引き続き活用)	9	9	1	19
(うち廃止)	7	7	1	15
効果額	16.8億円	64億円	2.2億円	83億円

今回取りまとめ(第3次)分2施設

所在地域	庁舎等名称 (ゴシック体は引き続き活用するもの)	利活用の方向性	効果額 ^(注) (百万円)
海部管内	海部総合庁舎(津島市内) 農業総合試験場園芸研究部特産野菜研究室(弥富市内)		+221

(注) 効果額の試算に当たっては、土地利用規制等により敷地の売却が困難と認められるため、売却収入を加味していない。

プログラムの概要(海部管内)

海部総合庁舎[津島市内] (築21年SRC6階)

敷地面積 6,311.8㎡ (準工業地域)
 延床面積 8,530.2㎡
 (事務室+会議室+倉庫=4,482.2㎡…A)
 職員数 294人…B
 A/B 15.2 ㎡/人



庁舎としての有効活用を推進



農業総合試験場園芸研究部特産野菜研究室[弥富市内] (築35年RC2階)

〔海部農林水産事務所農業改良普及課
 農業総合試験場園芸研究部特産野菜研究室(注)〕

敷地面積 33,000.0㎡ (市街化調整区域)
 延床面積 3,800.9㎡
 (事務室+会議室+倉庫=925.2㎡…A)
 職員数 21人…B
 A/B 44.1 ㎡/人

⇒ 機能に移転し、敷地を有効活用



(注) 農業総合試験場園芸研究部特産野菜研究室については、「行革大綱に係る重点改革プログラム」に基づき、園芸研究部野菜研究室(長久手市)に集約・再編し、研究機能を集約・重点化(27年度～)

庁舎等名称	利活用・管理の最適化に向けた対応策				
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
海部総合庁舎	改修整備 農業改良普及課入居	(農業改良普及課本格執務)	→	→	→
農業総合試験場園芸研究部 特産野菜研究室	移転作業	(敷地を有効活用)	→	→	→

参考 策定済みプログラムの進捗状況(第1次分)

[平成26年3月現在]

所在市町村	庁舎等名称 (ゴシック体は引き続き活用するもの)	利活用の方向性	進捗状況 (括弧内は年度)
名古屋市 昭和区内	名古屋南部県税事務所高辻庁舎	処分	入札済(H25)
	愛知県高辻センター	集約・有効活用	完了(H23)
稲沢市内	一宮保健所稲沢保健分室	集約・有効活用	完了予定(H25)
	尾張農林水産事務所農業改良普及課稲沢駐在室	処分	処分予定(H27)
	一宮建設事務所稲沢倉庫	処分	処分予定(H27)
安城市内	安城県税センター	処分	処分予定(H27)
	衣浦東部保健所安城保健分室	集約・有効活用	完了予定(H25)
	農業総合試験場安城農業技術センター	建物集約・敷地有効活用	完了予定(H25)
豊田市内	豊田加茂福祉相談センター	敷地有効活用	検討中
	(借上げ施設)	借上げ施設を使用	完了(H24)
田原市内	豊川保健所田原保健分室	処分	入札予定(H26)
	(借上げ施設)	借上げ施設を使用	完了(H24)
	東三河農林水産事務所田原農業改良普及課	有効活用(市機関を受入)	完了(H24)
蒲郡市内	豊川保健所蒲郡保健分室	集約・有効活用	完了(H24)
	三河港務所蒲郡出張所	港湾施設用地として活用	活用予定
半田市内	知多総合庁舎	相互利用推進	相互利用中
	半田保健所	相互利用推進	
	知多福祉相談センター	相互利用推進	

参考 策定済みプログラムの進捗状況(第2次分)

[平成26年3月現在]

所在市町村	庁舎等名称 (ゴシック体は引き続き活用するもの)	利活用の方向性	進捗状況 (括弧内は年度)
県庁周辺	三の丸庁舎	→ 集約・有効活用	完了予定(H26)
	白壁庁舎	→ 集約・有効活用	完了予定(H26)
	東大手庁舎	→ 集約・有効活用	完了予定(H26)
	元河川工事事務所	→ 集約・有効活用	完了予定(H26)
	産業貿易館(西館)	→ 敷地有効活用	検討中
	産業貿易館(本館)	→ 敷地有効活用	検討中
西尾市内	西尾保健所	→ 集約・有効活用	完了予定(H26)
	西尾総合事務所	→ 集約・有効活用	完了予定(H26)
	西三河建設事務所西尾支所	→ 処分	処分予定(H28)
豊田市内	足助総合庁舎	→ 処分	検討中
	豊田加茂建設事務所足助支所	→ 集約・有効活用	完了予定(H26)
設楽町内	新城保健所設楽保健分室	→ 敷地有効活用	検討中
	新城設楽建設事務所設楽支所	→ 集約・有効活用	完了予定(H26)
豊橋市内	環境調査センター東三河支所	→ 有効活用(一部使用許可)	完了予定(H25)
	愛知水と緑の公社貸付財産(岡崎市内) (元西三河消費生活センター)	→ 処分	処分予定(H27)
	東三河建設事務所道路維持補修基地 (元建設技術研究所三河分場)	→ 処分	入札予定(H26)
		→ 他の県有地を有効活用	完了予定(H25)